

子育てメッセージ新年特集号

2012年が皆様にとって明るく幸せな年となりますように。
地域の皆様から年頭に当たってのメッセージをお

荏原第二地区民生児童委員協議会
会長 石坂 昌代
3月の未曾有の震災。それに伴う復興には長い年月が必要と思われます。それらを担うのはこれからの子どもたちの「ちから」に他なりません。それらに大いに期待し我々も何ができるか探り乍ら育んで行きたいと思って居ります。

荏原第六中学校 校長 松澤 宏尚
脳の活性化には「笑い」のある生活が大切だそうです。今年一年間、心がけてみようと思います。皆さんも、是非試してみてください！学力が大きく伸びるかもしれません。

清水台小学校 校長 亀谷 まり子
干支の中で唯一想像の動物、辰年の今年、清水台小学校では、夏休み中に新しい校舎に引越しの予定です。外側も中身もピカピカに、飛躍の一ページ目が始まります。地域の皆様とともに、昇龍の如く勢いのある年にしたいと願っています。

荏原第五中学校 校長 羽鳥 紀子
9年生の面接練習で好きな言葉を尋ねたとき、「努力は報われる」「乗り越えるためにハードルはある」など次々出てくる前向きな言葉に、未来を託せると確信しました。こんな五中生を今年もよろしく願っています。

旗台小学校 校長 佐藤 勝
新しい年が明けました。昨年わが国に起こった様々な事柄を決して忘れず、これからは確実に生かしていくこと。それが今、生きられている私たちの責務です。何より我が国の未来を担う子どもたちのために！

清水台保育園 園長 豊福 美智子
震災後のあすごい状況の中でも、震災にあった人たちがお互いを思いやり、絆を大切にしていた姿が忘れられません。人とは文字通り人と人が支えあって、生きていくものなのだとつくづく思いました。今年も日本中がやさしさに包まれたすてきな年になると良いですね。

旗の台保育園 園長 木内 ひとみ
新しい年が当たり前の様にやって来ました。然し、今年の新年は誰もが家族と共に迎えられる幸せを痛感された事だと思えます。私は新年を迎えるにあたり「命」「絆」「力」「今」「未来」等のキーワードが思い浮かんできました。特に未来に向かって今を生き抜いていく子どもたちを丁寧に育てて欲しいと切に願っています。そして応援して行きたいと思えます。

荏原第二地区民生児童委員 伊藤 延子
子ども達の明るい笑顔！
子ども達の澄んだ瞳！
子ども達の弾んだ声！
そして安らかな寝顔！
それを護るために何ができるのか、何をしなくてはならないのか・・・。子ども達に心を寄せ続ける一年にしたいと願っています。

荏原第二地区民生児童委員 飯田 春世
昨年は東日本大震災をはじめ、日本各地で大災害が多く、ウサギの大暴れにはホドホド困りました。一人一人が思いやる心、いつくしみの心を持ち、子どもたちが力強く生きていける社会を目標として気持ちを新たにスタートしたいと思えます。

荏原第二地区民生児童委員 水上 久忠
子どもは地域社会の宝です。また、子どもは家族の希望です。子どもは離婚、経済的な原因、不測の事故の理由で必ずしも実両親に育てられることがなく「養子」になってしまいます。東京都では「家庭養護」が不足していることですので、関心をもつことが大事と思っております。

荏原第二地区民生児童委員 森田 みゆき
平成23年の世相を表す漢字「絆」。新しい年を迎え、親子や友達や近隣の絆をよりいっそう強め、また被災地の方々にも気持ちを寄せていただけたらと思えます。明るい年になりますように！

荏原第二地区主任児童委員 高岡 千賀子
あけましておめでとうございます。
昨年は震災があり、考える事の多い一年でしたね。どんなに力があっても科学が進んでも自然には勝てませんね。今、生きている事に感謝して一日一日を大切に、この一年元気に過ごしてください。

荏原第二地区民生児童委員 相澤 賀代子
去年は苦しみや悲しみが一杯ありました。今年はそれをバネに飛び立ちましょう。
苦しみを力強さに、悲しみを喜びに変えて前進を共にしましょう！皆で手をつないで歩いて行きましょう。

荏原第二地区民生児童委員 早川 範子
今年の流行語の一つに絆が選ばれ人間同士のつながりの大切さを見直すようになりました。
2012年の目標：一家和楽・各人が幸福をつかむ・難を乗り越える・健康長寿・絶対勝利の一日一日で勇気を出してがんばっていきます。
皆様どうぞよろしくお願い致します。

荏原第二地区民生児童委員 成田 安世
今年は4年に一度のオリンピック開催の年です。なでしこジャパンの世界一・・・あの時のあの感激をもう一度皆で味わうことを夢んでいます。僕も私も将来オリンピックの選手になりたいと思う希望の持てる競技がたくさんみられることを楽しみにしています。

荏原第二地区民生児童委員 赤石 美穂子
子どもの小さい時は目と手をかけ、大きくなったら言葉(口)をかけると言います。私も民生児童委員として地域の皆様と協力し、お力をお借りしながらサポートして行きたいと思えます。
これからもよろしくお願い致します。

荏原第二地区民生児童委員 宇治橋 紀代美
新年を迎えて夢や希望いっぱい描いてその目的達成には色々な方法があるでしょう。それは私達が幸せに毎日暮らしてゆける事が基本であり、こんな当たり前の普通の事がある日突然何かの形で崩れ崩れでもして、大変な状態を見せられた時に、一番先に頭に浮かぶ事はこの当たり前が何と幸せの証だったと気付きました。身近な大自然の恵みに毎日感謝してお礼申し上げ、皆で助け合いの輪が広がって行く様に協力して行きたいと思えます。

品川景德学園 園長 伊藤 浩
“本当の豊かさとは何だろう”ということ、あれこれ考えさせられた一年でしたが、今年は元気に満ちあふれた素敵な年になることを願っています。

すまいるスクール清水台 小野寺 清
兎年の昨年は大震災を経験し、人としての生き方や価値観を見直すきっかけの年でした。
辰年の今年も日本中が昇龍の如く元気に溢れる明るい年になってほしいと願っています。
本年もよろしくお願い致します。

荏原第二地区民生児童委員 佐藤 みよ子
3月11日の震災から私達有志で千羽鶴を折り、社協より被災地に届けてもらうことから始まり、国民の皆が絆と言う言葉で助け合うことの大切さを知り、これから何年もかかる被災地の人たちのことを思い、絆をますます深めていって失われた大切なものをもう一度取り戻す事を手伝いたいと思えます。

荏原第二地区民生児童委員 長谷川 薫
民生委員になってやっと一年になろうとしていますが。その間高齢の方のお付き合いは多いのですが、近所に子どもさんはいないし、小さい子とお付き合いしたのは児童館のお手伝いした時だけでした。これから良く勉強して行きたいと思えます。

すまいるスクール旗台 木下 伸子
すまいるスクールは、たくさん地域ボランティアの皆様協力して運営しています。地域の絆の大切さを実感した昨年。今年はすまいるから地域に貢献する活動も広げていきたいと思えます。

すまいるスクール第二延山 今井 みどり
昨年は辛いことが多く、人とのつながりの大切さを実感した一年でした。すまいるスクール第二延山は、地域の方々やPTAとの協働により子どもたちが心豊かで安心できる一年を過ごす事ができました。今年も子どもたちの笑顔あふれる「二延すまいる」にしていきたいと思えます。